

025年大阪・関西万博に出席する「日本館」の概要を正式発表した。火星由来の隕石として世界最大級の「火星の石」を初めて一般公開する。水をはじめとした宇宙や地球での資源循環を全体のテーマに据え、日本の技術力もアピールする。

火星の石は、日本の観測隊が南極で発見。かつて火星に水が存在していたことを示す鉱物が含まれており、科学的に重要な資料だという。三つのエリアのうち、「プラントエリア」で公開し、石のかげらを触ることが出来るコーナーも設ける。

## 最大級の「火星の石」初公開

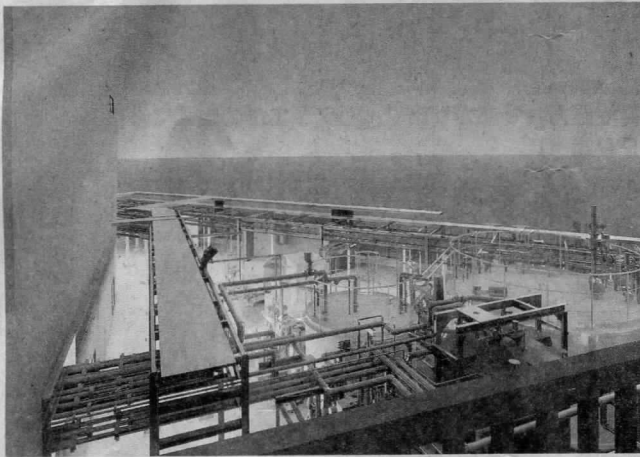
### 大阪・関西万博 日本館の概要発表

水などのエネルギーに変換する微生物の働きに着目した展示も計画。実際に万博会場内では出る生ごみを集め、微生物を活用して発電する「バイオガスプラント」を併設し、その様子を見学できるツアーも行う。

日本伝統のものづくりを紹介する「ファクトリーエリア」では、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の探査機「はやぶさ」と「はやぶさ2」が小惑星「イトカワ」「りゅうぐう」で採取した砂を展示。砂を地球に投下する際に使われたカプセルも紹介する。



日本の観測隊が2000年に南極で発見した世界最大級の「火星の石」  
112024年9月、東京都立川市の国立極地研究所



2025年大阪・関西万博で政府が出展する「日本館」で設けられるバイオガスプラント（経済産業省提供）